



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月6日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7105 URL <http://www.logisnext.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 御子神 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長 (氏名) 有賀 圭策 TEL 075-951-7171
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	330,244	5.1	8,881	96.4	9,416	116.8	5,047	916.6
30年3月期第3四半期	314,123	94.3	4,521	△38.6	4,343	△25.3	496	△82.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 4,814百万円 (△16.1%) 30年3月期第3四半期 5,735百万円 (44.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	47.41	47.25
30年3月期第3四半期	4.67	4.65

(参考) のれん等償却前営業利益 31年3月期第3四半期 15,503百万円 (27.0%) 30年3月期第3四半期 12,208百万円 (65.9%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	364,368	65,854	17.4	597.10
30年3月期	374,940	62,390	16.1	566.65

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 63,569百万円 30年3月期 60,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	11.00	11.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,000	0.4	12,500	34.7	11,000	30.6	6,000	104.0	56.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 Mitsubishi Logisnext Americas Inc.、除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式及びA種種類株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	108,891,013株	30年3月期	108,886,013株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	2,427,058株	30年3月期	2,443,056株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	106,453,657株	30年3月期3Q	106,419,928株

(注) 期末発行済株式数及び期中平均株式数の算定には、A種種類株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
3. その他	9
参考情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化、英国Brexitの迷走、地政学的懸念の増大等によりこれまでの堅調な成長基調から、景気後退への懸念が危ぶまれる状況となりました。しかしながら、中国及び新興国での景気拡大から横ばいへの移行はあるものの、先進国各国経済は米国での大型減税の効果や欧州での個人消費による景気下支えなどにより引き続き堅調を維持しております。日本経済は個人消費が底堅い動きを見せている一方、輸出の停滞等も顕著となっており、世界経済全体としては予断を許さない状況であり今後の動向を注視する必要があります。物流機器業界においても無人化、省力化を背景として需要は堅調に推移しているものの、景気の先行き不透明感や他社との熾烈な競争等もあり、楽観はできない状況であります。

このような状況の中、当社は平成29年1月1日付で旧ユニキャリア(株)を完全子会社とし、さらに平成29年10月1日付で吸収分割による同社との経営統合を行いました以降も、引き続きお客様の物流に対するご要望に真摯にお答えし続ける事で、一層の売上増加、収益向上を目指してまいりました。現在も、新中期経営計画「Perfect Integration 2020」への取組を通して、統合事業基盤を一層強化し、「世界トップクラスの総合物流機器メーカー」を目指してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、3,302億4千4百万円（前年同期比5.1%増加）となりました。利益面につきましては、営業利益は88億8千1百万円（前年同期比96.4%増加）、経常利益は94億1千6百万円（前年同期比116.8%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50億4千7百万円（前年同期比916.6%増加）となりました。

なお、のれん償却等の影響を除くと、営業利益は155億3百万円（前年同期比27.0%増加）となり、営業利益率は4.7%（前年同期比0.8ポイント増加）となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内事業〕

国内事業は、堅調な需要を背景に、国内フォークリフト販売台数を伸ばさせたことにより、売上高は1,345億2百万円（前年同期比4.6%増加）となりました。セグメント利益につきましても、資材費高騰等の影響があったものの、売上高の増加、販売価格の改善及びのれん償却等の減少により、31億6千9百万円（前年同期比182.9%増加）となりました。

〔海外事業〕

海外事業は、アジア、米州、欧州、中国の全域で販売を伸ばしたことにより、売上高は1,957億4千2百万円（前年同期比5.5%増加）となりました。セグメント利益につきましては、売上高の増加、経費の削減、のれん償却等の減少及び前年同期に中国事業における売掛金の貸倒引当金繰入額等を計上した影響により、57億1千1百万円（前年同期比67.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,643億6千8百万円となり、前連結会計年度末より105億7千1百万円減少しました。流動資産は、短期貸付金の減少はありますが、たな卸資産の増加等により49億4千万円増加し、固定資産は、有形固定資産の売却及びのれんの償却等により155億1千2百万円減少しました。負債合計は2,985億1千4百万円となり、前連結会計年度末より140億3千6百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、借入金の減少等によるものであります。

また、純資産につきましては、新株予約権及び非支配株主持分を除くと635億6千9百万円となり、前連結会計年度末より32億5千2百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月8日公表の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,549	17,916
受取手形及び売掛金	73,102	70,171
電子記録債権	821	1,494
商品及び製品	31,175	35,674
仕掛品	8,389	11,010
原材料及び貯蔵品	19,797	22,262
その他	41,426	35,326
貸倒引当金	△1,645	△1,297
流動資産合計	187,617	192,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,789	20,142
機械装置及び運搬具(純額)	36,551	36,260
土地	26,461	22,325
その他(純額)	4,974	4,739
有形固定資産合計	91,777	83,467
無形固定資産		
のれん	59,102	53,983
その他	19,055	17,838
無形固定資産合計	78,157	71,822
投資その他の資産		
投資有価証券	9,279	7,841
その他	8,373	8,937
貸倒引当金	△264	△256
投資その他の資産合計	17,388	16,521
固定資産合計	187,323	171,811
資産合計	374,940	364,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,733	42,669
電子記録債務	25,765	26,084
短期借入金	49,865	44,613
未払法人税等	1,705	1,252
賞与引当金	5,500	3,772
役員賞与引当金	73	50
製品保証引当金	4,390	4,636
その他	25,390	27,380
流動負債合計	161,424	150,458
固定負債		
長期借入金	129,636	125,757
製品保証引当金	710	774
役員退職慰労引当金	18	10
退職給付に係る負債	14,327	15,243
その他	6,432	6,268
固定負債合計	151,126	148,055
負債合計	312,550	298,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,890	4,890
資本剰余金	35,838	35,838
利益剰余金	15,659	19,426
自己株式	△9	△2
株主資本合計	56,378	60,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,040	2,064
為替換算調整勘定	596	1,582
退職給付に係る調整累計額	301	△231
その他の包括利益累計額合計	3,938	3,415
新株予約権	159	169
非支配株主持分	1,914	2,115
純資産合計	62,390	65,854
負債純資産合計	374,940	364,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	314,123	330,244
売上原価	241,815	253,044
売上総利益	72,307	77,200
販売費及び一般管理費	67,786	68,319
営業利益	4,521	8,881
営業外収益		
受取利息	579	680
受取配当金	115	124
持分法による投資利益	—	1
為替差益	—	300
その他	392	403
営業外収益合計	1,087	1,509
営業外費用		
支払利息	848	900
持分法による投資損失	15	—
為替差損	301	—
その他	99	73
営業外費用合計	1,265	973
経常利益	4,343	9,416
特別利益		
固定資産売却益	21	150
投資有価証券売却益	152	6
受取保険金	—	143
その他	31	10
特別利益合計	205	311
特別損失		
固定資産処分損	107	136
減損損失	257	184
投資有価証券売却損	18	—
投資有価証券評価損	—	62
事業構造改善費用	—	174
災害による損失	—	176
その他	2	—
特別損失合計	385	733
税金等調整前四半期純利益	4,163	8,994
法人税、住民税及び事業税	4,163	3,999
法人税等調整額	△656	△289
法人税等合計	3,506	3,709
四半期純利益	657	5,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	160	237
親会社株主に帰属する四半期純利益	496	5,047

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	657	5,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	989	△973
為替換算調整勘定	4,137	1,025
退職給付に係る調整額	△38	△531
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	9
その他の包括利益合計	5,077	△470
四半期包括利益	5,735	4,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,559	4,524
非支配株主に係る四半期包括利益	175	289

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	128,555	185,567	314,123	—	314,123
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,890	1,898	37,788	(37,788)	—
計	164,445	187,466	351,912	(37,788)	314,123
セグメント利益	1,120	3,401	4,521	—	4,521

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	134,502	195,742	330,244	—	330,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,739	1,400	37,139	(37,139)	—
計	170,241	197,142	367,384	(37,139)	330,244
セグメント利益	3,169	5,711	8,881	—	8,881

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内事業」セグメントにおいて、土地の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては7百万円であります。

「海外事業」セグメントにおいて、土地使用権の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては177百万円であります。

3. その他

2019年3月期 第3四半期決算 参考資料<連結>

1. 決算ハイライト

(単位: 億円)

	2017年度				2018年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	996.5	1,059.3	1,085.4	1,189.7	1,065.1	1,090.0	1,147.4	
営業利益<のれん等償却前> (営業利益率)	40.7 4.1%	39.4 3.7%	42.0 3.9%	69.3 5.8%	37.3 3.5%	50.7 4.7%	67.0 5.8%	
のれん等償却	▲ 25.8	▲ 26.3	▲ 24.8	▲ 21.7	▲ 22.0	▲ 22.1	▲ 22.1	
営業利益<のれん等償却後> (営業利益率)	14.9 1.5%	13.1 1.2%	17.2 1.6%	47.6 4.0%	15.3 1.4%	28.6 2.6%	44.9 3.9%	
経常利益 (経常利益率)	12.4 1.2%	14.5 1.4%	16.5 1.5%	40.9 3.4%	19.1 1.8%	32.3 3.0%	42.8 3.7%	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	▲ 1.6 -0.2%	6.0 0.6%	0.6 0.1%	24.4 2.1%	9.8 0.9%	15.6 1.4%	25.0 2.2%	

※2017年度3Qに経営統合し三菱ロジスネクストに社名変更。

為替レート

(単位: 円)

USD	111	111	112	111	109	110	111	
EUR	122	126	129	130	130	130	129	

2. セグメント情報

(単位: 億円)

	2017年度				2018年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	国内事業	404.2	451.5	429.8	485.6	424.4	440.9	479.7	
	海外事業	592.3	607.8	655.6	704.1	640.7	649.1	667.7	
営業利益	国内事業	15.0	21.0	13.0	26.8	17.7	16.0	33.4	
	海外事業	25.7	18.4	28.9	42.5	19.6	34.8	33.7	

※営業利益はのれん等償却前営業利益

地域別売上高

(単位: 億円)

地域	2017年度				2018年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	404.2	451.5	429.8	485.6	424.4	440.9	479.7	
米州	332.5	341.2	360.6	395.8	338.8	368.8	356.0	
欧州	177.8	180.7	201.6	208.2	201.9	181.2	206.0	
アジア・中国	82.0	86.0	93.3	100.0	100.0	99.0	105.7	
計	996.5	1,059.3	1,085.4	1,189.7	1,065.1	1,090.0	1,147.4	

3. フォークリフト販売台数

(単位: 千台)

	2017年度				2018年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
国内	7	7	7	8	8	7	7	
海外	21	20	21	26	23	21	21	
合計	28	27	29	33	30	28	29	